

令和5年度東京都発達障害者支援体制整備推進事業 発達障害者相談支援スキルアップ研修

実技研修 | 発達障害者へのアセスメント技術を高める

東京都における発達障害児（者）支援は、区市町村ごとに体制整備が進められています。発達障害がある本人や家族が、安心して生活するためには、身近な地域において、支援の入り口となる相談機能の強化が求められます。今年度も、発達障害者支援体制整備推進事業の一環として、区市町村における相談支援の現場で中核を担う人材の確保と育成を目的に、実践研修をシリーズで企画・実施いたします。

本研修は、受講者の皆様に事前課題をしていただきます。支援事例について所定のフォーマットを元に、事前にまとめた上で、研修に参加していただきます。研修当日は近藤先生にアセスメント方法・事例検討の進め方についてのご講義ののち、事例検討（グループディスカッション）を通して、発達障害者へのアセスメント技術を高め、効果的に事例検討会議を進めるノウハウ、ケースを人に伝える（レポートする）ことについて学び合う機会にしたいと思っております。

- 主催：東京都福祉保健局、社会福祉法人 嬉泉
- 対象：区市町村ならびに発達障害に関わる支援機関において
相談支援業務等の中核を担う職員
- 定員：20名（要予約） ■参加費：無料

- 日時：令和4年8月3日（木） 10：00～16：00
- 場所：ワйм貸会議室お茶の水 Room A
（所在地：千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 4F）
- 講師：近藤 直司氏（大正大学名誉教授）
- プログラム：（オンラインの場合、内容構成を変更する場合があります）

- 10：00～10：05 開会の挨拶
東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健医療課
- 10：05～10：35 講義① フォーマットの使い方
- 10：35～10：55 演習① フォーマットの修正
- 10：55～12：00 演習② 5分レポート
- 12：00～13：00 昼休憩
- 13：00～14：30 講義② ケース検討会議の進め方
- 14：30～15：30 演習③ ケース検討会議
- 15：30～15：45 休憩
- 15：45～16：00 講評・振り返り（質疑・応答）

- 申込方法：メール [kenshu-s@kisenfukushi.com] にて、（社福）嬉泉 子どもの生活研究所まで
（その他の申込方法をご希望の方は、下記までお問合せください）

- 問合せ先：（社福）嬉泉子どもの生活研究所（法人本部）TEL03-3426-2323 / メール: kenshu-s@kisenfukushi.com

★定員になり次第、受付を締め切ります。受講の可否については電話かメールにてご連絡致します。

.....申込書 Eメール：kenshu-s@kisenfukushi.com.....

- ふりがな
- ① 名前： _____ ② 勤務地（地域）： _____ 区・市・町・村
- ③ 所属部署・担当係： _____ （職種： _____）
- ④ 連絡（勤務）先： TEL： _____ / FAX： _____
- ⑤ 発達障害にかかわる相談支援等経験 : あり（経験年数： _____ 年） なし

※下記項目は必ずご回答ください

事務連絡用メールアドレス（受講決定メール、オンラインに変更の場合はZoomURL等を送付いたします）：

オンラインに変更時、Zoom招待メール送付先が上記と異なる方は下記にお書きください

お申込みに際しての注意事項

研修の流れ

- ①本研修は、事前提出課題があります。期限までのご提出をお願いします。
- ②当日、演習①にて事前課題の修正を行い、グループ内で発表（5分間）していただきます。
- ③発表した課題をもとに、ケース検討会議を行い、近藤先生に講評・振り返りをいただきます。

皆様へ

新型コロナウイルス感染症の状況によって、オンライン研修（Zoom）に変更させていただく場合があります。

※詳細につきましては、受講決定後にご案内をさせていただきます。